

令和元年度第1回徳島県スポーツ推進審議会資料

【参考資料】

競技力ジャンプアッププロジェクト

- 競技者・指導者・団体の取組を積極的に支援
- 一貫指導体制のさらなる充実
- 医科学サポート体制の整備

- ◆トップレベルの競技者・指導者を育成
- ◆ハイパフォーマンスを引き出すサポート環境を提供



【令和元年度予算額 244,588千円】
（うち当初予算計上 243,088千円）

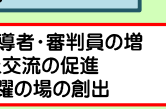
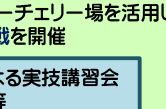
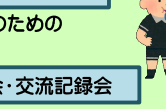
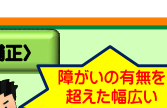
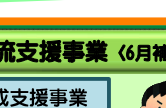
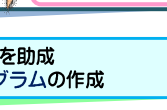
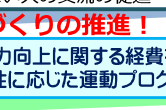
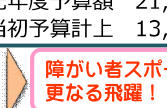
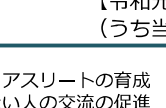
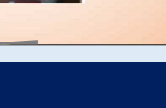
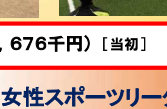
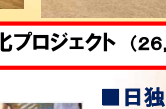
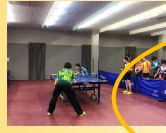
オリンピック選手輩出・国体順位飛躍プロジェクト （132,645千円）【当初】

- オリンピック・国体チャレンジ事業（39,000千円）
- 競技スポーツ重点強化対策事業（45,845千円）
- スポーツコーディネーター活用事業（14,800千円）
- 企業・大学スポーツ支援事業（6,000千円）
- オリンピック・国体選手育成事業（7,000千円）
- 国体バックアップ事業（20,000千円）



目指せ！オリンピック夢はぐみ事業 （令和元年度6月補正予算額：1,500千円）

元オリンピック等の選手や指導者によるジュニア選手への指導・助言



（新）あわスポーツ・医科学強化プロジェクト（26,676千円）【当初】

- あわハイパフォーマンスサポート事業
（1）リハビリ対策等の最新医科学情報提供
（2）スポーツ医科学体制整備検討委員会（仮称）を設置



- あわ女アスリート医科学サポートアシスト事業
成長期の女子選手への実態調査・サポート体制構築

- 日独女性スポーツリーダーサミットの開催
ドイツNDS州と連携した人材育成



国体天皇杯30位台の実現

担当：スポーツ振興課

障がい者の能力と個性を発揮するスポーツ施策の展開

【令和元年度予算額 21,000千円】
（うち当初予算計上 13,925千円）

これまでの取組み

- ◆障がい者スポーツ協会と連携した障がい者スポーツ振興の促進
- ◆スポーツ大会や障がい者スポーツ体験イベントの開催

課題

- ◆東京パラリンピックの次の世代を担うアスリートの育成
- ◆スポーツを通じた障がいのある人とない人の交流の促進

障がい者スポーツの
更なる飛躍！

障がいのある人が身近な場所でスポーツに取り組める環境づくりの推進！

障がい者スポーツ振興事業（当初）

- 国際競技大会で活躍が期待できる選手及び団体へ競技力向上に関する経費を助成
- 障がい者スポーツ協会の実施事業の支援や、障がい特性に応じた運動プログラムの作成

障がい者スポーツ活性化に向けた取組み強化！

（新）次世代パラアスリート発掘・育成事業（6月補正）

トップアスリート・スクーリング開催事業

- 障がい者スポーツに取り組む障がい者（児）を対象に、競技別指導者による実技指導を授業形式（スクーリング）で実施

- ・競技力の向上
- ・次世代パラアスリートを育成

パラアスリートの卵発掘！ジュニア・アカデミー事業

- 特別支援学校や小・中学校と連携し、障がい児を対象に、スポーツの「楽しさ」の体感と基本的運動能力を育てるスポーツ教室を開催

- ・卒業後も見据えたスポーツへの参加意欲向上
- ・次世代パラアスリートを発掘



（新）障がい者スポーツ交流支援事業（6月補正）

障がい者スポーツ指導者育成支援事業

- 指導者・審判員資格取得のための養成講座を開催

アーチェリー合同強化練習会・交流記録会

- 徳島科学技術高校の新アーチェリー場を活用し、障がい者と高校生の交流戦を開催

障がい者トップアスリートによる実技講習会 eスポーツの体験・交流会 等

- ・障がい者スポーツ指導者・審判員の増
- ・アーチェリーを通じた交流の促進
- ・障がい者の新たな活躍の場の創出



障がい者トップアスリートの活躍と障がいへの理解の促進！

障がい者スポーツを通じ、障がいに関係なく交流が広がる共生社会の実現へ

担当：障がい福祉課

競技力向上関連事業

全国高等学校総合体育大会や各種全国大会上位入賞

【令和元年度予算額 38,270千円】
（うち当初予算計上 30,370千円）

小・中学生世代から将来性の
ある選手を**発掘し継続強化**

高校生の競技力向上

新たな有望競技の育成

新 NEO徳島トップスポーツ校強化事業 【令和元年度予算額 16,000千円】

2022年度全国高等学校総合体育大会や各種全国大会での上位入賞を目指すため、強化校を指定し、集中的に高校生の競技力向上を図るとともに、
優秀な中学生を継続して育成するため、中・高の連携を密にし合同練習会を実施【6月補正】

新 全国高等学校総合体育大会開催準備事業 【令和元年度予算額 2,850千円】

2022年度に四国4県で開催される、全国高等学校総合体育大会の実行委員会設立準備を行う

渦潮スポーツアカデミー推進事業 【令和元年度予算額 10,000千円】

スポーツ拠点校である鳴門渦潮高校を中心に、**県外の強豪チーム等を招へいしてスポーツキャンプを実施し、選手の強化と指導者を育成【6月補正】**

中学校トップスポーツ競技育成事業 【令和元年度予算額 5,600千円】

全国で活躍できる競技を指定し、高校と連携を図り、競技力を向上

あわスポーツ・ブルミング戦略事業 【令和元年度予算額 2,320千円】

小学校・中学校体育連盟と連携し、将来有望なジュニア選手の発掘・育成
高校体育連盟と連携し、入賞の可能性のある競技の強化・支援

県立学校スポーツ施設レガシー創出事業 【令和元年度予算額 1,500千円】

ホッケー競技の県内拠点として、**阿南光高校において、全国大会が誘致可能な多目的球技場(天然芝)を整備【6月補正】**



レガシーとして
継 承



担当：体育学校安全課・施設整備課

世界や国際大会で活躍するアスリートの育成！

新 健康長寿・人生100年時代への挑戦「打糖!!糖尿病」応援推進事業

【令和元年度予算額 43,800千円】
（うち当初予算計上額 1,000千円）

取組の背景

- ◆「健康無関心層」の取込
- ◆企業と保険者による「コラボヘルス」
- ◆「Society5.0」データや技術革新を積極的に導入
- ◆2025大阪・関西万博「多様で心身ともに健康な生き方」(サブテーマ)

本県における課題

- ◆H29年糖尿病死亡率ワースト1位
- ◆「運動習慣者の割合」が65歳以上に比べ20～64歳が低い
- ◆「野菜摂取量」が目標量に達していない

4年ぶり

新たな視点
での
対策必要！



「全世代で!」をコンセプトに 県民挙げて さらに「進化した」糖尿病対策の推進! 〈6月補正〉

I 「楽しく!」「お得に!」健康ポイント事業

○健康づくりをポイント化

- ・歩行数や健診、健康づくりイベントに参加すると健康ポイント獲得

アプリを活用



- ・県独自のインセンティブを提供(県産品等)
- ・「徳島県ポイント」との交換



○「オール徳島」で推進

- ・市町村、保険者と連携
- ・保険者インセンティブの強化

○「健康経営」を後押し

- ・企業や保険者等の健康づくりイベントで活用

○地域経済の活性化

- ・商店街や観光地とコラボイベント
- ・協賛企業提供商品をアプリでPR

III 大学との連携

- 徳島大学「とくしま健康寿命からだカレッジ」を活用した健康づくりリーダー等の育成

II 「運動」を焦点とした糖尿病予防対策

○介護保険施設等「健康にぎわいの場」におけるシニアフィットネス

- ・介護保険施設等と連携し、シニアフィットネスを開催



○「働き盛り世代」へのアプローチ

- ・県有施設等を活用した「ヘルスアップ教室」の開催

IV 重症化予防対策の強化

○市町村保健事業の支援

- ・KDB(国保データベース)システムを活用した対象者抽出ツールの検討、開発
- ・ターゲットを絞った効果的な保健事業の実施を支援

新 慢性腎臓病(CKD)対策強化推進事業

- ・かかりつけ医と専門医によるCKD診療連携体制の構築・推進

「オール徳島」による健康長寿とくしまの実現!

担 当：健康づくり課、国保・自立支援課

新 西部健康防災公園利活用推進事業

事業の目的

【令和元年度予算額 8,000千円】

平成30年12月に完成した「西部防災館(本館・別館)」を含む「西部健康防災公園」が**本格運用開始**となったことから、**防災拠点**としてはもちろんのこと、東京オリンピック・パラリンピックやワールドマスターズゲームズ2021関西のレガシー創出に向け、障がいのある無にかかわらず誰もが気軽にスポーツを楽しめ、かつ健康意識の向上など**健康づくりの拠点**を目指す。

背景

◆平成30年12月8日
西部防災館・別館(物資集積施設)完成
西部健康防災公園の本格運用開始!



防災拠点

防災拠点としての機能強化

○西部防災拠点機能強化推進事業

西部防災館・別館を徳島県広域防災活動計画へ位置づけ、役割や機能を明確化

・防災拠点機能の強化

- 公園全域を使った応援隊現地訓練
- 災害時物流 実動訓練
- 孤立化や活断層地震に対応した図上訓練の実施
- 通信途絶状況を想定した図上訓練

・啓発事業の充実

- 7月豪雨災害を踏まえた「命を守る」防災講座の実施
- 防災を楽しく学び体験する「まなぼう祭(さい)」の開催

災害時には、**広域応援活動拠点**

平時には、**防災啓発拠点** としてさらなる機能強化!



健康拠点

「スポーツ・交流拠点」としての魅力発信

○「西部健康防災公園」利活用モデル支援事業

利活用方法を広く公募し、選定された「モデル事業」の開催経費に助成
新たな利活用方法として発信し、さらなる利活用へ

○障がい者スポーツ推進事業

「にし阿波・パラスポーツ推進協議会」を活動母体として、障がい者の視点に立った取組を推進

- 「にし阿波・障がい者スポーツ推進アクションプラン」の策定
- 「トップ・パラアスリートによる競技体験・交流イベント」の開催



「健康拠点」としてのモデル展開

○糖尿病・慢性閉塞性肺疾患(COPD)対策推進事業

- 「インターバル散歩」をはじめとする運動習慣の定着支援
- 介護・福祉施設職員を対象とした「糖尿病アドバイザー」の養成
- 受動喫煙防止に向けた環境づくりや禁煙支援・防煙教育の強化

地域住民に愛され、地域と歩み、地域と育つ「西部健康防災公園」へ

担当: 地域創生部、保健福祉環境部

世界とつながる 3大国際スポーツ大会・キックオフ プロジェクト

【令和元年度予算額 455,000千円】
【うち当初予算計上 419,460千円】

新 ラグビーワールドカップジョージア代表 事前チームキャンプ受入事業

【当初】



**ラグビー強豪国
ジョージア**

- ◇5大会連続 本大会出場!
- ◇2018欧州国際ナショナル
チャンピオンシップ優勝!

2019年9月8日-16日 鳴門・大塚スポーツパーク球技場
ジョージア代表事前チームキャンプを実施!



- キャンプ受入態勢整備
- 県民との交流イベント
- 機運醸成イベント など



新 東京オリンピックキャンプ地誘致等推進事業

【当初】



世界トップアスリートの招聘・交流を実施!

- 海外代表チームキャンプ受入れ
- ドイツNDS州とのスポーツ交流 など

本県のホストタウン対象国

- H28.1 ドイツ 第一次登録
- H29.12 カンボジア 第五次登録

聖火リレーに向けた準備を推進!

徳島県聖火リレー実施日
大阪府 ▶ 2020年4月16日-17日 ▶ 香川県

ワールドマスターズゲームズ2021関西 開催準備事業

【当初・補正】



海外モニター選手等
から客観的視点で
大会開催に向けた
諸課題等を把握

各競技・各機能の内容を具体化!

- 実施計画・マニュアルの作成 [補正]
- 競技・受入態勢の整備 [当初・補正] など

国内外における広報活動を実施!

- 海外マスターズスポーツ大会
- 国内スポーツ大会 [当初] [当初・補正] など

徳島県: 12競技種目実施

東京オリンピック・パラリンピック 徳島未来創造基金積立金

【当初予算額 500,725千円】

3年連続の国際スポーツ大会を契機に、
スポーツ・文化の振興を加速!!

柔軟かつ機動的な
事業展開

数年先を見据えた
事業展開

- キャンプ地の誘致実現・受入態勢の整備
- 徳島からの日本代表選手の輩出
- 国体順位向上に向けた競技力の向上
- 障がい者スポーツの振興
- あわ文化の魅力を発信
- 県民の文化活動を支援

スポーツ・文化を通して
世界とつながる徳島

レガシー創出

担当: スポーツ振興課・国際スポーツ交流室

「自転車王国とくしま」魅力発信プロジェクト

【令和元年度予算額 17,000千円】
（うち当初予算計上 13,250千円）

- 10周年を迎える「自転車王国とくしま」をブラッシュアップ！
- 新たなコンテンツで情報発信強化！
- 徳島の魅力を国内外に積極的にアピール！
- 県内ライドイベントでのサイクルトレイン実装！

3大国際大会を見据えた
誘客促進・認知度アップ

「自転車王国とくしま」10周年
さらなる魅力アップへ！

（新）「自転車王国とくしま10周年」魅力再発見事業 3,750千円（補正）

サイクルトレインの運行（補正）

ライドイベントで運行
参加者の利便性アップ！

実証実験（当初）
ツール・ド・にし阿波

四国の右下
ロードライド

ひわさうみがめ
トライアスロン

WMGIに向けて

Go aroundコースMAPの多言語化（補正）

「自転車王国とくしま」
海外展開へ！

ENGLISH

中文簡体字

中文繁体字

TOKUSHIMAサイクルワールド（仮称）の開催（補正）

自転車の魅力を発信
サイクリストの拡大！

ロードバイク等展示・試乗

ゲストとのライド

子供向けイベント

自転車王国とくしまビルドアップ事業（当初）

新たな「王国ファン」の
拡大に向けて！

「魅力再発見」
観光サイクリング
を推進

サイクリング

+ アクティビティ

四国サイクリングのブランド化

受入環境の整備

サイクリングアイランド四国の推進

おもてなし態勢の整備

シェア・サ・ロードの啓発

「自転車ではろがる人・まち」づくりプロジェクト 13,250千円（当初）

サイクリングアプリ作成（当初）

観光アプリを活用

・スポット検索

・ナビゲーション

・コース自動作成

快適なサイクリング
をサポート

アプリ機能充実

新たに
自転車の観光を提案！

立ち寄りスポット等
サイクリスト向け情報の充実！

新たなサイクルツーリズムの創出

コンテンツ作製・PR（当初）

Go aroundコース
PRムービー作製

自転車王国とくしま
スマホ対応HP構築

Go aroundコース
モニターツアーの実施

サイクルイベント等
国内におけるPR

台湾・香港等
国外へPR

インフルエンサー
による魅力拡散

担当：スポーツ振興課

（新）未来型スポーツ環境創造プロジェクト

【令和元年度予算額 5,000千円】

現状と課題

- 少子高齢化、人口減少
- 地球温暖化（スポーツ環境の悪化）
- 大規模災害への対応

- 1 あらゆる人々がスポーツやイベントを楽しめる環境づくり
- 2 夏場のスポーツへの適応
- 3 「拠点避難所」としての機能確保
- 4 多目的に利用できる施設整備
- 5 周辺施設との相乗効果発揮

未来の姿

- 地方都市としての賑わい創造
- まちの活性化

「庁内タスクフォース」の設置

- ・職員による「タスクフォース」を設置
- ・「本県ならではの」方向性を検討

先進事例等の調査・研究

- ・国内外における先進事例調査
- ・スポーツ施設等に関する最新技術動向の調査・研究

スポーツ施設を核に
新たな価値を創造

新次元のスポーツ環境により地域の活性化を推進！

担当：スポーツ振興課

新 文化・スポーツ魅力創造事業

【令和元年度予算額 29,000千円】
 (うち当初予算計上 25,000千円)

現状

- 2020東京五輪におけるドイツカヌー代表チームの合宿誘致活動が大詰め



- ワールドマスタースゲームズ2021関西における4競技の開催準備の加速
- 市町ごとにワーキンググループを開催。市町に眠る観光素材・キーマンを発掘

課題

- 観光素材の磨き上げ・人材の連携により、地域を巻き込む観光施策の展開
 - 国際スポーツ大会に向けて更なるインバウンド施策の充実
- 地域が一体となって観光による地域活性化に挑戦

連携推進

「四国の右下観光局」を核に「新たな価値・消費・需要」を創造

～四国の右下インバウンド戦略を加速～

県南の強みを活かした魅力発信強化

- ①海外プロモーションの強化
 - ・WMG関西2021誘客促進
 - 【対象国】オーストラリア・香港・台湾
 - ・海外メディア招へいによる魅力発信
 - 【対象国】アメリカ・オーストラリア
 - 香港・台湾・インドネシア・タイ
 - ・「ピギナーサーファ」の誘致
 - 【対象国】中国・香港・台湾
 - ・ライセンスツーリズムの推進
- ②インバウンド拡大に向けた魅力発信の強化
- ・FIT誘客向け県南の魅力を感じてくれるモデルコースの提案



海外メディア招へい(拝宮農村舞台)



観光商談会(香港)

県南の新たな可能性にチャレンジ

- ①DMO「四国の右下観光局」を核とした観光地域づくり
 - ・広域観光の本格展開、観光人材の育成
 - ・奥木頭・スマート回廊エリアへの誘客促進
- ②「世界初DMV」を活用した観光コンテンツの開発
 - ・DMVと観光地をつなぐ観光周遊プランの企画提案
 - ・「モードチェンジを体験」する体験型ツアー・イベントの企画
 - ・SNS等を活用し鉄道ファンに向けた情報発信
- ③ストレスフリーな旅行環境の整備
 - ・Wi-Fi、多言語表記などの整備促進



CAMP PARK KITO



DMV

～文化・スポーツによるレガシーの創出～

文化

- ①「伝統文化に参加」体験型観光の受入態勢整備【6月補正】
 - ・外国人旅行者が地域の文化や歴史に触れる体験プログラムの開発
 - ・祭り・農村舞台・かも道などを活用した外国人向けモニターツアーの実施
- ②地域の伝統食をはじめとする「食文化の伝承」【6月補正】
 - ・地域の伝統食を外国人誘客に活用
 - ・農泊、民泊施設において外国人向け食体験プランの提供



日和佐八幡神社秋祭り



郷土料理「かきまぜ」づくり

スポーツ

- ①「東京オリパラ・WMG」の機運醸成
 - ・WMG開催種目の「トップアスリートによるクリニック」の開催【6月補正】
 - ・地元小学生を対象にした「サーフィンスクール」の開催
 - ・大学と連携したスポーツ合宿の誘致
- ②スポーツイベントによる経済効果の検証・消費促進
 - ・「四国の右下ロードライド」でのQRコードを活用した参加者の行動データ収集・消費促進【6月補正】
 - ・全日本サーフィン選手権大会でのアンケート調査の実施



四国の右下ロードライド



サーフィン

担当：地域創生部

【企業局】

新 川口ダム湖畔カヌー・SUP拠点整備事業

【令和元年度予算額 60,000千円】

これまでの取組

スマート回廊を核とした地域振興

- ▶ H28スマート回廊地域創造事業実行委員会設置
- ▶ 東京五輪キャンプ地誘致を見据えたカヌー拠点の整備支援
- ▶ H30「川口ダム湖畔活性化構想」検討



カヌーセンター

課題



継続した湖面活用

- ▶ 東京オリ・パラ後のカヌーレガシーの継承
- ▶ スマート回廊周辺施設等との連携
- ▶ 親水エリア・未利用局有地の有効活用

➡ ダム湖畔の活性化によるスマート回廊の発展

川口ダム湖畔活性化構想（5か年計画）



R元事業概要 ～カヌーレガシーの継承～

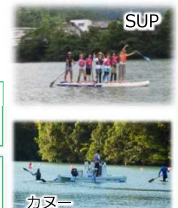
●ダム湖畔のカヌー・SUP拠点整備着手

- 川口エネ・ミュー第2駐車場の護岸等整備
 - カヌー・SUP等の発着場新設 → 詳細設計
 - 駐車場の拡幅 → 詳細設計・造成

- 国道195号沿いの景観保全
 - ➡ 支障木の伐採

- 湖面活用のための準備
 - ➡ 湖面ルール策定のための協議会立ち上げ

- 那賀町・地元観光施設との連携
 - ➡ カヌー・SUPイベント等の継続実施



SUP

カヌー

川口ダム湖畔に“新たなスポーツ聖地”の創出

スマート回廊の進化・発展による地方創生

担当：経営企画戦略課